

社会福祉法人

秀幸福社会

2025・No.309

11月



特別養護老人ホーム庄栄エルダーセンター

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38

TEL 072-631-5151 FAX 072-631-5141

高槻エルダーセンター

〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町2丁目4-32

TEL 072-690-5151 FAX 072-690-5141

地域密着型デイサービスセンター 未来

〒567-0823 大阪府茨木市寺田町8-20

ピアハイツ幸1階

TEL 072-635-8484 FAX 072-635-8451

三島・庄栄地域包括支援センター

〒567-0023 大阪府茨木市西河原2丁目17-4

TEL 072-631-5566 FAX 072-631-5555

太田・西河原地域包括支援センター

〒567-0018 大阪府茨木市太田1丁目17-20

TEL 072-631-5200 FAX 072-631-5222

東・白川地域包括支援センター

〒567-0806 大阪府茨木市鮎川1丁目6-4

TEL 072-636-8686 FAX 072-636-8687

いきいきネット相談支援センターエルダー

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38

CSW 専用携帯 080-8946-3999

FAX 072-631-5141

茨木市福井多世代交流センター

〒567-0062 大阪府茨木市東福井2丁目23-22

TEL 072-643-1300 FAX 072-643-1300

相談支援センターひまわり(茨木市指定・委託事業所)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38

TEL 072-626-3310 FAX 072-626-3340

放課後等デイサービス ひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄1丁目13-27

TEL 072-623-5511 FAX 072-623-5550

認定こども園 ちとせ学院 (本園)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-35

TEL 072-626-2191 FAX 072-626-2192

認定こども園 ちとせ学院 Ramo (分園)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目8-13

TEL 072-626-2191 FAX 072-626-2192

認定こども園 ちとせ学院 めぐみの森

〒567-0814 大阪府茨木市戸伏町13-35

TEL 072-626-1606 FAX 072-626-3164

認定こども園 ちとせ学院 Due 南茨木

〒567-0868 大阪府茨木市沢良宜西1丁目10-31

TEL 072-638-9191 FAX 072-638-9192

保育所 ちとせ学院 Tre 保育園

〒567-0855 大阪府茨木市新和町21-21

TEL 072-635-1200 FAX 072-635-1201

大阪府指定住宅確保要配慮者居住支援法人

社会福祉法人 秀幸福社会

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-35

TEL 072-631-5151 FAX 072-631-5141

東地区

東・白川地域包括支援センターです

UR 総持寺団地秋祭り 開催しました



10月11日(土)、集会所では骨密度や体組成の測定の他に、学生によるカフェが開催され、多くの方が来場されました。

東・白川包括も高槻市富田包括支援センターさんとコラボし、高齢者に関する相談のブースを設けていただきました。

総持寺団地では体操教室やカフェを開催しておりますので、ぜひご参加ください。

白川地区

いばらきオレンジかふえ※



タヤけ小やけ



タヤけ小やけでは、おいしいコーヒーを飲みながら、なつかしい歌を歌ったり、参加者さん同士で楽しくお話が出来る場です。

認知症について不安を抱えているご本人様、ご家族様、地域の方に対し、相談することが出来ます☆彡

まずはお気軽にお問い合わせください♪

○場 所

鮎川三丁目5-25

アライブケア東雲敷地内

○参加費

100円(飲み物・お菓子付き)

○連絡先

657-0237

○開催日

月1回(第4木曜日)

13:30~15:00



いばらきオレンジかふえ※…認知症の人やご家族、地域の人など誰もが気軽に集う「憩える場」です。

庄栄エルダーホームヘルプステーション



令和7年11月



いつもご利用ありがとうございます。
今年も残りあと2か月ですね!朝晩の気温も
一段と冷え込むようになりましたが、皆様い
かがお過ごしでしょうか?

10月のヘルパー勉強会では「認知症ケアにつ

いての心情理解と入浴や更衣の促し方についてグループワーク研修
を行いました。実際の場面をイメージしながら、声かけの仕方や対応
のし方を確認し合い、「どうすればご利用者様に安心して過ごしてい
ただけるか」を一緒に考えました。これからも、ご利用者様が心地よく
過ごせるケアを目指して、技術を磨いていきます!



また、今月は「エルダーお仕事博」の出張イベントとして、
総持寺団地の秋祭りにも参加しました!地域みなさん
とお話したり、介護の魅力を知っていただく良い機会に
なりました🍀これからも、地域とつながりながら、
ご利用者様・ご家族様の“笑顔”につながる活動を
続けていきます😊



サービス提供責任者・

杉浦・園山・高木・松尾・小林・宮崎





11 月特別養護老人ホーム庄栄エルダーセンター診療室

笑顔で「ありがとう」と伝えることは、心身の健康や人間関係に多くの効果をもたらします。例えば作り笑いであっても、脳は「楽しい」と認識して、気分を高める効果が期待でき

笑顔の効果

<ストレス軽減とリラックス効果>

笑顔は「幸せホルモン」のセロトニンと「幸福感」「痛みを和らげる」エンドルフィンの分泌を促します。又ストレスホルモンのコルチゾール値を下げる働きがあり、リラックスできストレスが和らぎます。

<自律神経のバランスを整える>

心臓、胃腸等の働きを抑制する自律神経のバランスも改善されます。

<免疫の向上>

笑うことで免疫力が高まり、病気の予防につながります。

<脳の活性化>

認知症の予防や集中力向上に効果的です。

<自己肯定感の向上>

歯磨きの時など鏡に向かって笑顔の練習をすることも有効です。



ありがとうの効果

<身体的>

免疫力の向上、血圧の低下等、健康に影響を与えます。

<心理的>

感謝することで幸福感が高まり、前向きな感情が生まれます。

<社会的>

感謝の言葉で人間関係が円滑になり、周囲との繋がりが深まります。

笑顔と「ありがとう」の相乗効果＝組み合わせることで、それぞれの効果を更に高めます。

<ポジティブな連鎖>

相手に感謝の気持ちが伝わりやすく、お互いに好意的な反応が返ってくると、良い循環が生まれます。

<愛情ホルモンの分泌>

オキシトシンの分泌を促し、温かい気持ちが生まれ、信頼関係を深める手助けをしてくれます。



是非意識して、健康にお過ごし下さい❀



庄栄エルダーセンター開設25周年！！

祝

2000年1月に開設した庄栄エルダーセンターが、今年「開設 25 周年」を迎えました。

2000年4月から施行された「介護保険制度」という「措置」から「契約」といった介護業界では激動の時代での開設でした。

これまで継続して事業を展開できたのも、利用者様をはじめ、ご家族、地域の方々、関係機関の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝しております。

今後も当法人は、社会情勢をしっかりと見届け、地域社会の福祉の向上に職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

No.2

「幸せ宅配便」ライブ in 庄栄エルダー

盛大に開催！！



10月29日(水)庄栄エルダーセンター1階デイフロアにて標記ライブが、盛大に開催されました。



デイサービスの利用者様、特養の入所者様をはじめ、当法人の他施設の利用者様、地域の方々など100名ほどが、生歌や生伴奏を楽しめました。

小柳ルミ子の「お久しぶりね」から始まり、坂本 九の「明日があるさ」など、全20曲を披露していただき、参加者も知っている曲は、熱唱されていました。

●法人理念●

社会福祉法人 秀幸福社会は多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、又その有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営む事が出来るよう支援することを目的としています。

●運営目標●

- I 心が美しい人間になろう。
- II ひとり一人がみんなの命のぬくもりを大切にしよう。
- III やる気、本気で精一杯力を出し合おう。

●施設運営方針●

I 施設の使命

老人福祉施設庄栄エルダーセンターは、地域社会の支持を受け、開かれた施設として高齢者が地域社会の中で安心して生活を送ることができる、拠点施設となる事を使命とします。

II 利用者の生活の質の向上

老人福祉施設は尊厳を持って、利用者の個別ニーズに対応した自己決定を基盤とする自立支援をすると共に、優しさあふれた明るい施設作りを目指します。

III 職員の質の向上と専門性の向上

老人福祉施設の職員は常に質の高いサービスができるよう外部、内部研修に力を入れ円滑な人間関係の下『知識』『知恵』のあるケースを提供することを目的とします。

IV 地域福祉の向上

庄栄エルダーセンターは交通の利便性、人口密集地区にある施設として、施設、家族、地域の『きずな』を重視し、福祉サービスの発信基地、ボランティア活動の拠点となり、保健、医療機関との連携を密にして、地域の福祉の向上に努めます。